



# 江南の風

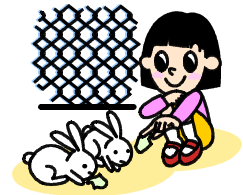
江南小学校 校長室通信  
平成29年12月12日 発行  
通算 第16号

教育目標 強い子になろう

## ＋(プラス)人間 と －(マイナス)人間

校長 花生 典幸

11月28日(火)の全校朝会で、子どもたちに「＋/プラス人間」と「－/マイナス人間」のお話をしました。お話の内容は、だいたい次のような感じです。



- 人間には、どんな人でも、よいところと悪いところがある。すべてよいところばかり、すべて悪いところばかり、そういう人はいない。
- みなさんの中には、二種類の人間がいます。それは、「＋/プラス人間」と「－/マイナス人間」です。
- 「マイナス人間」とは、
  - ・友だちの悪いところばかりを見つけて、それを言う人
  - ・なにかうまくいかないと、うまくいかない理由を、他の人が悪いからという人
  - ・友だちがなにかをして、うまくいったときに、なんだあのくらい、たいしたことないのにとばかりにしたり、ねたんだりする人
  - ・自分の短所やよくないところばかり気になって、自分はだめだなあと自信がもてない人
- 「マイナス人間」は、いつも悪いところに目が向いている人です。
- 反対に「プラス人間」とは、
  - ・プラス人間は、どんな人でもその人のよいところを見つけ、一緒に遊んだり、勉強したり、つきあっていける人
  - ・よくできた人に対して、素直にすばらしいと認めたり、いいねと声をかけてあげられる人
  - ・自分のよいところや長所を生かして、自信をもって行うことができる人
- 「プラス人間」は、いつもよいところに目が向いている人です。
- では、プラス人間とマイナス人間では、どちらの人が将来伸びると思いますか？(挙手してもらおう)その通り、プラス人間です。
- プラス人間の人には、いつもよいことを考え、人のよいところを認めていく人ですから、自然とプラスが集まってきます。10よいことがある人間だと、10プラス1で11、11プラス1で12というふうに、よいことがどんどん増えていきます。……(以下省略)
- 江南小学校のみなさんは、友だちのよいところや自分のよいところをたくさん見つけて一緒に伸びていくような、そんな「プラス人間」になってほしい、そういう人がたくさん増えてほしい、そう願っています。

“心が変われば、行動が変わる”と言われます。プラス思考を大事にして、「プラス人間」になれるように子どもたちが努力することを学校では、これからさらに支えていこうと思っています。ご家庭でも、励ましてくださればありがたいです。